

正弦波インバーター

SI-1000 / 12V

取扱説明書

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。



本製品の取り付けは専門的な知識を必要とします。
配線、設置は必ず販売店、専門業者にご相談、
ご依頼ください。安全のため、本製品のアース端
子を確実にボディアースしてください。



もくじ

はじめに

安全上の注意	3
使用上の注意	5
消費電力の大きい機器を接続する場合	5
ご使用になれない機器	6
特に注意が必要な機器	6
定格消費電力の確認方法	7
本製品の特徴	8
付属品の確認	8
保護機能	8
各部の名称と機能	9

使用する

設置と接続	10
設置	10
クリップ付電源コード/アース線の接続	11
付属のコードを使用しない場合	12
使用方法	13
PROTECTランプについて	14
USBランプについて	14

困ったときは

故障かな？と思ったら	15
------------	----

その他

仕様・定格	16
資料【外形寸法図】	17

アフターサービス

アフターサービスについて	18
修理に関して	18
修理受付票	19
保証書	裏表紙
お客様相談窓口	裏表紙
セルスター工業拠点一覧	裏表紙

安全上の注意

本製品を安全に正しくご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただく必要があります。この「安全上の注意」に記載されている事柄は、ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを記載しています。記載文にはいろいろな絵表示をしてありますが、その意味は下記のようになっておりますので内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

■ 注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに分けています。



警告

警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性があります。



注意

注意を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生をする危険性があります。

■ 各記載文の絵表示について



このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



このような絵表示は、「**行為を強制したり指示を告げる**」内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「**注意喚起**」内容です。



警告

-  本製品の上や近くに燃えやすいもの、または熱で変形しやすいものは置かないでください。
* 火災、やけどの原因になります。
-  本製品の AC コンセントからは AC100V が USB 出力端子からは DC5V が出力されています。AC コンセントや USB 出力端子に金属類を差し込んだりしないでください。
* 感電の原因となります。また、本製品の故障の原因となります。
-  可燃物の周辺で使用しないでください。
* 火災の原因となります。
-  包装用の袋は乳幼児、小さなお子様が手に取る事がないよう開封後速やかに破棄してください。
-  包装用の袋は必ず本製品から取り外してからご使用ください。
* 本製品の放熱を妨げ、故障の原因となります。
-  使用する機器に表示された注意事項をよく守ってご使用ください。
-  水をつけたり、水を掛けたり、濡れた手で使用する機器の電源プラグの抜き差しなどの操作をしないでください。
* 感電する恐れがあります。
-  子供・乳幼児には手を触れさせないように注意してください。
* ケガや感電など、思わぬ事故の原因となります。
-  使用中、万が一本製品が不安定な動作になったり、煙が出る、変な臭いが出るなどの異常がおきた、または故障した場合は、ただちに使用を止め、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
* お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
-  クリップ付電源コードの接続先を本書に記載された場所以外へ接続するのは絶対におやめください。
* 火災の原因になります。
-  本製品を車内で使用する場合、運転中に接続や操作をしないでください。
* 事故の原因となります。

安全上の注意（つづき）

警告

- ❗ 各コード類はエンジン、排気管、過給器など高温になる箇所、冷却ファン、ファンベルトなど回転する箇所を避け、また車両の金属部にこすれたり、可動部（シートレールなど）に挟み込まれないように注意してください。
 - * 発熱、発火、ショートなどによる火災、故障の原因となります。
- ❗ 本製品および使用する機器の電源が入った状態で、お車のエンジン始動はおこなわないでください。また、使用する機器の電源が入った状態で、本製品の電源スイッチ（PW）の操作をおこなわないでください。
 - * 本製品や接続した機器の故障の原因となります。
- ❗ 本製品の誤った取り扱いによる車両や車載品、使用される機器などの事故、破損、損害が発生しても弊社では一切の責任を負いかねます。また補償なども一切ありません。
- ❗ 本製品をアイドリング状態で使用する場合、車庫など車が密閉状態になると排気ガスが充満する危険があります。換気に十分気をつけてください。
- ❗ 本製品はDC12V（直流）をAC100V（交流）とUSB-DC5V（直流）に変換する変換器です。本書に記載された電圧以外では絶対に使用しないでください。
 - * 本製品や接続した機器の故障の原因となります。
- ❗ 本製品を分解したり、改造や加工は絶対にしないでください。
 - * 感電や故障、ショートによる火災の原因となります。
- ❗ 本書にしたがい正しい取り扱いで安全にご使用ください。
 - * 事故を引き起こす原因となります。
- ❗ 穴や隙間から、金属類や燃えやすい物など異物を差し込んだりしないでください。
 - * 火災、感電の原因となります。また、本製品の故障の原因となります。
- ❗ 付属のコードを使用せず、市販のコードなどで配線、設置する場合は必ず販売店、専門業者に依頼してください。
 - * 誤った配線、安全性の確保、配慮のない配線、設置は発熱、発火、ショートによる火災など大きな事故の原因となります。
 - * 付属のコードを使用せず市販のコード、部品などで配線設置し、それが原因で発生した故障、破損、事故については弊社では一切の責任を負いかねます。また補償なども一切ありません。

注意

- ⚠ プラスアース車では絶対に使用しないでください。
- ⚠ 安全の為、本製品のアース端子を確実にお車とボディーアースしてください。
- ⚠ 各端子は確実に接続してください。
 - * 接続不良や接続部分などの異常発熱などの原因となります。
- ⚠ 無人での使用、エンジンを停止したままでの使用は、思わぬ事故やバッテリーあがりの原因となりますのでご注意ください。使用しない場合は、必ず電源スイッチ（PW）を「OFF」にしてください。
- ⚠ 本製品の配線や設置などが車の運転の障害にならないようにしてください。また、エアバッグなど車の装備に影響がないように配線してください。
 - * 交通事故を引き起こす原因となります。
- ⚠ 本製品の外装ケースは放熱板となっています。使用状況によってはケースが高温になる場合がありますので、ケースには不用品に触れないようご注意ください。
 - * やけどの原因となります。
- ⚠ 次のような場所でのご使用は避けてください。
 - ・直射日光、雨水、塩水のアたること
 - ・高温、多湿な環境下
 - ・振動の激しい場所
 - ・砂塵、埃などの多い場所や温風吹き出し口の近く
 - * 故障、漏電の原因となります。
- ⚠ 放熱が悪くなるので、周囲を囲んだりふさいだりしないでください。
- ⚠ 本製品のACコンセントにAC100Vを入力しないでください。
 - * 本製品が故障します。

使用上の注意

- 本製品および使用する機器の電源が入った状態で、お車のエンジン始動はおこなわないでください。また使用する機器の電源が入った状態で、本製品の電源スイッチ（PW）の操作をおこなわないでください。本製品や接続した機器の故障の原因となります。
- 本製品のUSB電源で電子タバコなどの充電ができない場合があります。充電の際は、電子タバコに付属されているAC100V充電アダプターを使用して充電してください。
- エンジン停止時は使用しないでください。バッテリー上がりの原因となります。
- 定格出力以内で使用していても、使用環境により本製品が高温になる場合があります。異常ではありませんがご注意ください。
- 使用しない場合は、必ず本製品の電源スイッチ（PW）を「OFF」の状態に、また使用する機器のACプラグやUSB入力端子は本製品から抜いた状態にしてください。
- ご使用になる機器の最大および定格消費電力を必ずご確認ください。複数の機器をご使用になる場合は、最大消費電力の合計が本製品の最大出力容量以内、定格消費電力の合計が本製品の定格出力容量以内であることをご確認ください。
- 本製品はP.W.M.制御方式を採用しているため携帯電話、オーディオ機器、映像機器にノイズが出る場合があります。
- 本製品はDC-DCコンバーター（電圧変換器）などとは併用できません。
- 本製品で使用できるUSB出力端子は「A-TYPE」です。またUSB出力端子には電源供給以外の機能はありません。USB接続によるデータの破損、損失については一切の保証を負いかねます。
- 本製品はすべてのUSB機器に対応するものではありません。本製品で電源供給できない場合や充電できない場合があります。
- 本製品にはUSBハブを接続しないでください。
- 一部のアイドリングストップ装備車において、アイドリングストップの状態からエンジンが再始動した際、車両の電源電圧が一時的に低下し過ぎて、本製品の電源がOFFになってしまう場合があります。これは車両側のシステム構造上の特徴であり、本製品の異常ではありません。使用する機器、本製品保護の為、アイドリングストップ機能をOFFにしてご使用頂くことをお勧め致します。詳しくは、車両の取扱説明書をご参照ください。
- 各コードが外れたり、すれたりしない様に確実に接続し、エンジン、排気管、過給器など高温になる箇所、冷却ファン、ファンベルトなど回転する箇所などと接触しない様に注意してください。
- 各コードを接続した状態で走行しないでください。

消費電力の大きい機器を使用する場合

- 使用する機器の消費電力がお車のオルタネータの発電能力を超えるとバッテリー上がりの原因となりますので特にアイドリングストップ装備車については注意が必要です。
- 消費電力の大きい機器を接続して使用する場合は、予備のバッテリーを購入して使用してください。大きな容量のバッテリーの使用や複数個、並列接続して使用することをおすすめします。
- 消費電流の目安
本製品を使用している時の消費電流はおおよそ以下の通りです。

AC100V	消費電流（バッテリー側）
500W 使用時	約 50A を消費
800W 使用時	約 80A を消費

* この数値はあくまでも目安です。入力電圧（電源電圧）によって変化します。

ご使用になれない機器

⚠ 警告 次のような機器は絶対にご使用ならないでください。

- すべての医療機器や、使用上、生命に関わるような機器には絶対にご使用にならないでください。
- 社会的、公共的に重要な機器などへは絶対にご使用にならないでください。
- 重要な事業用機器などへは絶対にご使用にならないでください。
- タイマー・計測器などの精密な周波数を必要とする機器にはご使用にならないでください。

上記に該当または準ずる機器、装置などについてはシステムの多重化、非常用発電設備の設置など運用・維持・管理について特別な配慮が必要となります。これらの機器に使用した場合での損害などについては弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

その他、ご使用になられる機器の仕様や構造、回路方式によってはご使用できない場合がありますのでご注意ください。

特に注意が必要な機器

■ 次のような機器は、定格消費電力と最大消費電力に大きな差があります。下記を参考に、ご使用になる機器の最大消費電力が、本製品の最大出力容量以内であることをご確認ください。また定格消費電力が同じ機器でも、メーカー、機種の種類により最大消費電力が異なり、ご使用になれない場合があります。消費電力が不明な場合は、ご使用になられる機器のメーカーなどへお問い合わせください。

・照明器具 [蛍光灯] の場合

蛍光管の消費電力と器具（電源部）の消費電力を考慮してください。

例) 20W の蛍光管を使用する照明器具で、器具の定格消費電力が15W の場合

→ 最大消費電力の目安は合計の35W 以上

器具（電源部）の定格消費電力が不明な場合は、蛍光管の定格消費電力の約2倍以上が最大消費電力の目安となります。

例) 30W の蛍光管を5本使用する照明器具の場合

→ 最大消費電力の目安は合計150W の2倍で300W 以上

・モーターを使用する機器

冷蔵庫、掃除機、洗濯機、電動工具、ポンプ、コンプレッサーなどのモーターを使用したものは、定格消費電力の約5～10倍が最大消費電力の目安となります。

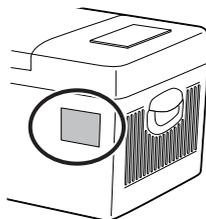
・電子レンジ

500W、600Wや1000Wなどと表現されていますが、これは高調波出力といってもものを温める能力を表しています。機器の側面や背面、取扱説明書に記される定格消費電力をご確認いただき、その約1.2～1.5倍が最大消費電力となります。

定格消費電力の確認方法

本製品の出力容量以上の消費電力を必要とする機器はご使用になることができません。下記を参考に
ご使用になる機器の定格消費電力が本製品の定格出力容量以内であることをご確認ください。

■ 定格消費電力は、ご使用になる機器の取扱説明書の仕様欄や、機器背面などに記載、表示されている場合があります。



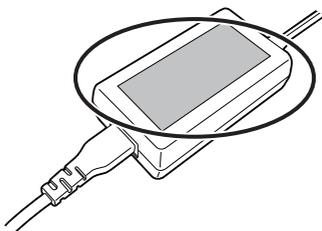
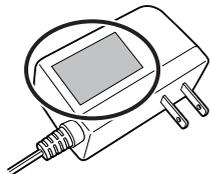
1 「〇〇W」と記載されている場合

例) 「定格消費電力〇〇W」

→ 記載されているそのままの数値にてご確認ください。

2 「アンペア (A)」と記載されている場合

(充電器、AC アダプターなど)



例) 「INPUT (入力) AC100V 〇.〇〇A」

→ アンペア(A)の数値に「100」を掛けてワット(W)に変換します。

0.85Aの場合、定格消費電力は85Wとなります。

3 「ボルトアンペア (VA)」と記載されている場合

例) 「INPUT (入力) AC100V 〇〇VA」

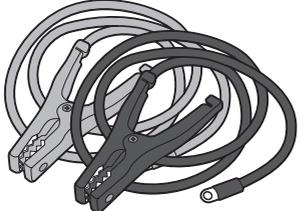
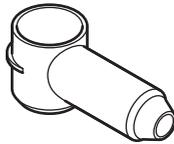
→ ボルトアンペア (VA) の数値がそのままワット (W) の数値となります。

本製品の特徴

- DC12VをAC100Vの正弦波に変換
- マイコン制御
- 自動識別機能付きUSB 5V/2.4Aを2系統搭載

付属品の確認

本製品を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

<input type="checkbox"/> クリップ付電源コード（赤、黒） 	<input type="checkbox"/> 入力端子カバー（赤）×1  (クリップ付電源コード（赤）に装着)	
<input type="checkbox"/> アース線 	<input type="checkbox"/> 本体固定ネジ×4 	<input type="checkbox"/> 取扱説明書、保証書 

保護機能

保護機能が動作すると、PWランプが消灯し、PROTECTランプが点灯する場合があります。その場合は、原因を取り除き、電源スイッチ（PW）を「OFF」にして、再度「ON」にしてください。

入力電圧低下保護	入力電圧が約 10V 以下になると PROTECT ランプが点灯し、強制的に電源を切ります。
入力過電圧保護	入力電圧が約 16V 以上になると PROTECT ランプが点灯し、強制的に電源を切ります。
過負荷保護	出力容量が最大出力容量を超えると、PROTECT ランプが点灯し、強制的に電源を切ります。
出力短絡保護	出力（AC100V 側）でショートすると、PROTECT ランプが点灯し、強制的に電源を切ります。
異常温度検出保護	製品内部の温度が約 100℃以上になると、PROTECT ランプが点灯し強制的に電源を切ります。
周波数切換保護	AC 出力中（電源スイッチ「ON」）に周波数の切り換えをおこなうと PROTECT ランプが点灯し、強制的に電源を切ります。
入力逆接続保護	入力（DC12V 側）で（+）と（-）を逆に接続した場合に、ヒューズが切れます。
入力電圧低下アラーム	入力電圧が約 11V 以下になるとブザーが鳴り、注意を促します。

各部の名称と機能

前面



背面

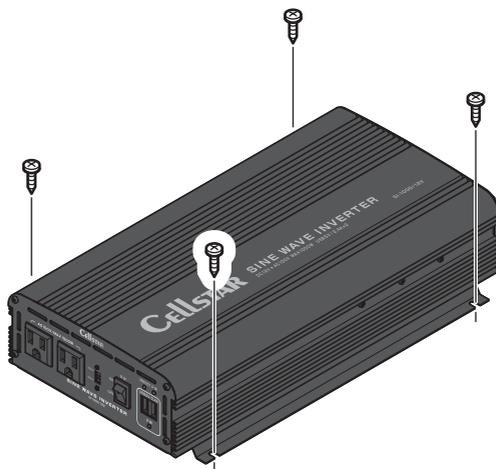


- ① ACコンセント (AC100V出力)**
接続する機器の AC プラグを差し込んで使用します。
- ② 周波数切換スイッチ**
使用する機器の周波数 50Hz、60Hz に合わせます。
- ③ 電源スイッチ (PW)**
「ON」 にすると PW ランプが点灯し、AC100V と DC5V を出力します。
* 使用しない場合は、必ず電源スイッチ (PW) を「OFF」 にしてください。
- ④ USB PWランプ (青色)**
DC5V 出力中に点灯します。
- ⑤ USB出力端子 (A-TYPE : DC5V出力)**
USB 接続機器の入力端子を差し込んで使用します。
- ⑥ PROTECTランプ (赤色)**
AC100V の保護機能が動作した場合に点灯します。
このランプが消灯した状態で使用します。
- ⑦ AC100V PWランプ (緑色)**
AC100V 出力中に点灯します。
- ⑧ 入力端子 (黒) ... (-) 端子**
クリップ付電源コード (黒) の丸端子を接続します。
- ⑨ アース端子**
アース線を接続します。
- ⑩ 放熱ファン**
放熱をおこないます。穴を防がないようご注意ください。
- ⑪ 入力端子 (赤) ... (+) 端子**
クリップ付電源コード (赤) の丸端子を接続します。
- ⑫ 本体固定用ネジ穴**
付属の本体固定ネジで車両にしっかり固定します。

設置と接続

設置

本製品が動かないように、付属の本体固定ネジ（4×12mm）を使用し、本製品を固定してください。本製品の各寸法はP17 資料【外形寸法図】をご参照ください。



はじめに

使用する

困ったときは

その他

アフターサービス

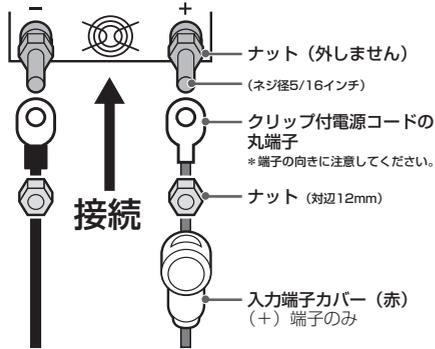
クリップ付電源コード/アース線の接続

* クリップ付電源コードの接続は、ショートなどの事故防止のため、接続する順番に気をつけてください。

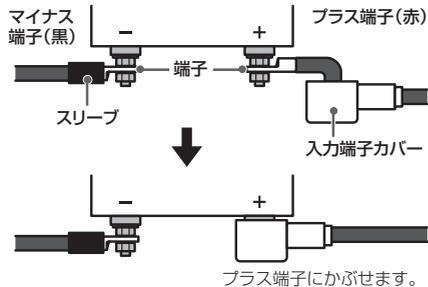
* 配線作業中、工具でプラス、マイナスをショートしないようによく注意して作業をおこなってください。

1 本体のプラス電源入力端子にクリップ付電源コード（赤）、マイナス電源入力端子にクリップ付電源コード（黒）を接続します。

2 本体の⊕端子に入力端子カバーを被せます。



下図の向きになるようにクリップ付電源コードの丸端子を本体の電源端子にそれぞれ接続してください。



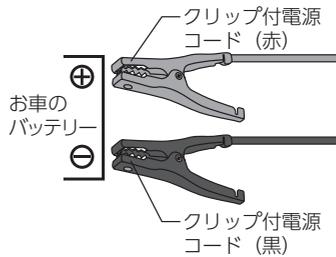
⚠ 注意

- 必ず、本製品を先に接続してください。
- コードの端子を間違えないように接続してください。
- ショートなどによる事故を防ぐために使用する工具（スパナ、ナット等）を絶縁処理して作業をおこなってください。

3 本体のアース端子にアースコードを接続します。固定ナット対辺7mm（ネジ径M4）

4 プラスのクリップ付電源コード（赤）を車両のプラスバッテリーターミナルに接続します。

5 マイナスのクリップ付電源コード（黒）を車両のマイナスバッテリーターミナルに接続します。



6 アース線を車両にボディアースします。

- ボディアース：バッテリーのマイナス端子と導通のある金属部に接続します。



エンジンブック、アースポイントや車両ボディ（金属部）など

⚠ 注意

- 塗装してある箇所や樹脂カバーの上からでは導通がないのでご注意ください。
- 車両ではなく、バッテリー単独での使用の場合、アース線は使用するバッテリーのマイナス端子に接続してください。

付属のコードを使用しない場合

定期的に各配線、接続の状態の点検確認をお願いいたします。

！ 警告

付属のコードを使用せず、市販のコードなどで配線、設置する場合は必ず販売店、専門業者に依頼してください。

- * 誤った配線、安全性の確保、配慮のない配線、設置は発熱、発火、ショートによる火災など大きな事故の原因となります。
- * 付属のコードを使用せず市販のコード、部品などで配線設置し、それが原因で発生した故障、破損、事故については弊社では一切の責任を負いかねます。また補償なども一切ありません。

■ 使用する電線や部品は安全性を考慮しご用意をお願いいたします。

① 電源コード

- 2AWG以上（もしくは相当以上）の耐熱温度の高い電線。長さは2m以内。細い電線を使用したり長くした場合、電線が高温になり過ぎたり、発火の恐れがあります。また、長くした場合、電源電圧が低下してしまい本製品が正常に動作しなくなる場合があります。

② アース線

- 16AWG以上（もしくは相当以上）の耐熱温度の高い電線

③ 各種接続端子

- 使用する電線また本製品の各端子に適した部品をご使用ください。適さない部品を使用した場合、部品や電線が外れたり、部品が発熱したり危険です。

④ ヒューズ/ヒューズホルダー、もしくはサーキットブレーカーの使用

- 配線トラブルが発生した際の安全確保のため、電源コードのバッテリー端子に近い箇所にヒューズ/ヒューズホルダーもしくはブレーカーの設置をおすすめします。

⑤ その他配線保護部材

- 各電線の保護、固定など安全性確保によくご配慮頂きご用意ご使用ください。

* 入力端子カバー（赤）の使用

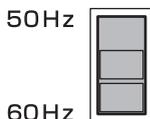
付属のクリップ付電源コードに装着してある入力端子カバーを外し、別途用意したプラス側電源コードに装着し、本体電源端子部の絶縁保護をしてください。

- * ショート事故防止のため、必ず入力端子カバー（赤）を装着してください。

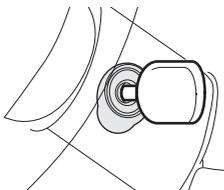
使用方法

1 周波数切換スイッチを使用する機器の周波数50Hz、60Hzに合わせてください。

* 使用する機器の周波数が「50Hz/60Hz」と表記されている場合、お住いになられている地域の周波数に合わせてください。

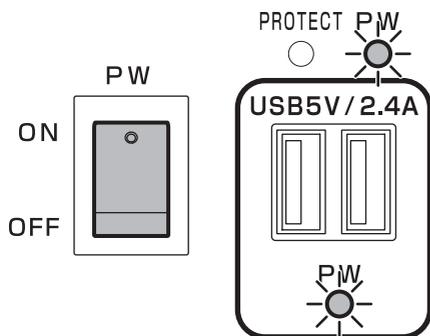


2 車のエンジンをかけアイドリング状態にしてください。



3 電源スイッチを「ON」にします。

PWランプが緑に点灯し、約3秒後にAC100VとDC5Vを出力します。



4 本製品のACコンセントまたはUSB出力端子に、使用する機器のACプラグまたはUSB端子を差し込みます。



5 使用する機器の電源を「ON」にします。



⚠ 注意

周波数の切り換えについて

・周波数の切り換えは電源スイッチをOFFにしてからおこなってください。出力中に周波数を切り換えた場合、周波数切換保護が作動し、強制的に電源を切ります。

PROTECTランプについて

はじめに

正常動作	正常に AC100V が出力している状態では、PROTECT ランプ（赤）が消灯しています。
保護機能作動時	PROTECT ランプ（赤）が点灯し、強制的に AC100V の電源を切ります。原因を取り除き、再度電源スイッチを ON にしてください。

使用する

USBランプについて

正常動作	電源スイッチを「ON」にするとPW ランプ（青）が点灯しDC5V を出力します。
短絡保護作動時	USB PW ランプ（青）が消灯しDC5V の出力を停止します。原因を取り除くと自動復帰します。
過負荷保護作動時	USB PW ランプ（青）が点滅しDC5V の出力を停止します。原因を取り除くと自動復帰します。

困ったときは

その他

アフターサービス

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。
また、弊社ホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因	参照
PW ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">・お車のエンジンがかかった状態かお確かめください。・クリップ付電源コードが確実に接続されていることをお確かめください。	P11、P13
	<ul style="list-style-type: none">・定格・最大消費電力が本製品で出力容量以内の機器であることをお確かめください。	P7
本製品に使用する機器を接続したが使用できない	<ul style="list-style-type: none">・お車のエンジンがかかった状態かお確かめください。・保護機能が働いている場合があります。接続機器を外すなど、原因を取りのぞき、電源スイッチ（PW）を「OFF」にして、再度「ON」にしてください。	P13、P14

* 上記事項を確認しても正常に動作しない場合は、故障が考えられます。お買い上げの販売店、または本書「アフターサービスについて」に記載のお客様相談窓口までご連絡ください。

はじめに

使用する

困ったときは

その他

アフターサービス

仕様・定格

はじめに

使用する

困ったときは

その他

アフターサービス

■ 入力電圧 : DC12V
・動作電圧範囲 : 11.0 ~ 15.0V

■ インバーター部
・出力電圧 : AC100V
・出力安定度 : ±4%
・出力周波数 : 50Hz/60Hz±1% (切り換え)
・定格出力 : 800W
・最大出力 : 1000W
・サージ電力 : 2000W (0.1秒以内)
・出力波形 : 正弦波
・波形歪率 : THD4%以下
・変換効率 : 80%以上
・回路方式 : PWM方式マイコン制御

■ USB端子
・出力電圧 : DC5V
・定格出力 : 2系統、2.4A+2.4A

■ 保護機能 : 入力電圧低下保護
: 入力過電圧保護
: 過負荷保護
: 出力短絡保護
: 異常温度検出保護
: 入力逆接続保護
: 周波数切換保護
: 入力電圧低下アラーム

■ 使用温度範囲 : 0 ~ +40℃

■ 本体ヒューズ容量 : 40A×3 (内蔵)

■ 本体サイズ : 198(W) × 302(D) × 82(H)
※突起部除く

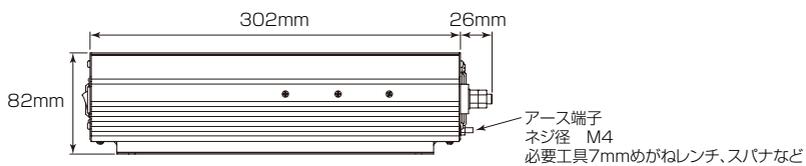
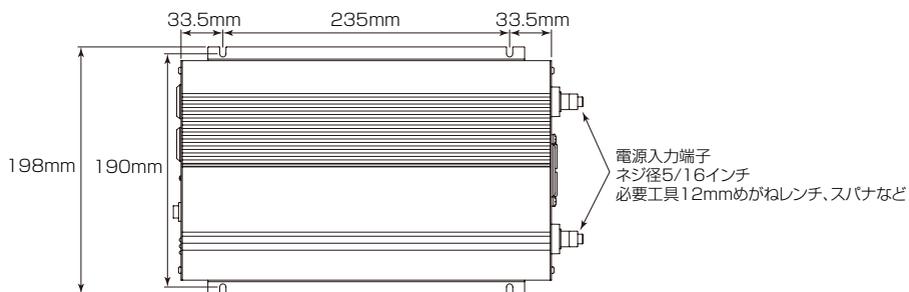
■ 本体重量 : 2.98kg

■ 付属コード : クリップ付電源コード
2AWG 2.0m、赤、黒

■ 付属アース線 : ワニ口クリップ付コード
16AWG 1.5m

資料

■外形寸法図



はじめに

使用する

困ったときは

その他

アフターサービス

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P19参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定に従って無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票（P19参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）

http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- 1 故障かな？と思ったら（P15参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。
- 2 弊社ホームページ「お客様サポート」→「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。
- 3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

http://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P19参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付してください。

- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。

 0570-006867（ナビダイヤル）

 0120-75-6867（フリーダイヤル）

【受付時間】 9:00～18:00

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合:0570-006867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先
セルスター工業 アフターサービス
〒518-1145
三重県伊賀市安場 1608-5
TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本製品に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- ① 弊社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

製品名：SI-1000/12V

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：		ご住所：□□□□□□□□□□	
ご自宅電話番号：			
FAX番号：			
日中で連絡可能な電話番号：		<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
ご購入日：	お見積り連絡： <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡 <small>※不要を選択の場合、お見積り金額はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。</small>		
同梱した付属品：合計（ ）点	具体的な症状： <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する できるだけ詳しくご記入ください。		
修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。			
お客様名：		ご住所：	
ご自宅電話番号：			

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P19参照）も併せてご記入ください。

製品名：SI-1000/12V	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 1年 お買い上げ 年月日から 1年間有効
ご住所：	
お電話：	



以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛り・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態、また付属コード以外のコードを使用しそれが原因による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保存ください。

販売店様へのお願ひ 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ

<個人のお客様> カスタマーサービス
[受付時間]9:00~18:00(土・日・祝日および、弊社休業日を除く)

0570-006867 (ナビダイヤル)

0120-75-6867 (フリーダイヤル)
携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：0570-006867

<法人のお客様> セルスター工業株式会社 本社 (代)
[受付時間]9:00~18:00(土・日・祝日および、弊社休業日を除く)
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■メールでのお問い合わせ

弊社ホームページのよくあるご質問 (FAQ) より質問を送信してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



セルスター工業 拠点一覧

- 北海道地区 **札幌営業所**
〒004-0842 北海道札幌市清田区清田二条3-2-1
TEL.011-882-1225 (代) / FAX.011-881-7251
- 東北地区 **仙台営業所**
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158
TEL.022-218-1100 (代) / FAX.022-218-1110
- 北関東・新潟地区 **水戸営業所**
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911 (代) / FAX.029-255-1420
- 関東地区 **本社**
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-29
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

- 東海・北陸地区 **名古屋営業所**
〒453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町5-7-1
TEL.052-307-5733 (代) / FAX.052-307-5737
- 関西・中国・四国地区 **大阪支店**
〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-8-7
TEL.072-722-1880 (代) / FAX.072-722-5575
- 九州・沖縄地区 **福岡営業所**
〒811-1314 福岡県福岡市南区の場二丁目15番16号
TEL.092-588-1101 (代) / FAX.092-588-0057

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

「全国自動車用品工業会会員」「ドライブレコーダー協議会会員」「東京都自動車部品組合会員」

Cellstar®

セルスター工業株式会社